

2013年12月8日。

茨城県武道館で秋季関東空手道選手権大会が開催されました。  
横浜北支部からは選手14名が出場し、6名が入賞しました。

小学3年生+ 30kg級 優勝 小嶋良羽将



今まであと一歩で優勝を逃していた小嶋が初優勝。  
準々決勝からの3試合は強豪ぞろいで苦戦を強いられたが、  
気持ちが切れることなくハードな試合に競り勝った。  
自分より大きな相手に怯まず向かっていく姿は見る者を感動させた。  
今大会でレベルアップした精神力は、来年の国際大会、全国大会で  
発揮されるに違いない。

小学5年生+ 40kg級 優勝 多久田和馬



全国大会、国際大会を連覇している多久田が5年連続の優勝。  
トーナメントの中で最も小柄にも関わらず、圧倒的な攻撃力で勝ち上がった。  
今大会を優勝したことで、今年出場した大会は全て優勝。  
来年はこの絶対王者を脅かす相手は現れるだろうか。

小学女子高学年+ 40kg級 優勝 知念琉花



今年から国際大会、全国大会を制している知念がその実力を見せつけた。  
長身から繰り出される多彩な技は破壊力抜群。すべて本戦決着で優勝を決めた。  
普段の稽古から全国トップクラスの男子と組手をする知念にとって、  
女子との試合は稽古より楽に感じたかもしれない。

一般女子 + 55kg級 優勝 遠藤ひとみ



今年から横浜北支部に移籍してきた遠藤がいきなりの優勝。  
技は粗削りだが、徹底したフィジカルトレーニングで鍛えこまれた基礎体力で、  
終始相手を圧倒し続けた。  
技の精度を高めたら、世界の強豪とも渡り合えるポテンシャルを秘めている。  
今後、日本を代表する選手に成長するかに期待がかかる。

壮年40～44歳以下 + 75kg級 優勝 石井鉄也



今年から横浜北支部に移籍した石井が優勝。  
重量級の体格ながら、フットワークを駆使した戦い方で危なげなく優勝を決めた。  
仕事で多忙な中、限られた時間で効果的な稽古をする石井は  
自然とクレバーな戦い方を身につけたのだろう。  
来年も仕事、家庭、空手をすべて両立させながら戦っていくことだろう。

一般新人戦—70kg級 準優勝 古波蔵 慎



7月の全関東大会でも準優勝の古波蔵が今大会も準優勝。  
決勝まで圧倒的な攻撃力で勝ち上がり、このまま優勝かと期待されたが、まさかの反則で減点1による判定負け。  
痛恨の敗北を喫してしまったが、今後はより技の精度を高めることだろう。  
次の大会から上級の試合に挑む古波蔵にとって、貴重な敗北となった。

✕ 閉じる